

令和7年度 小国まちづくりセンターの主な取組

事業名

ちいさなまちの映画館

P

●事業実施に至った背景、目的

本年度は職員体制が大きく変わった。高齢化率が高いこの地区で、住民の方がまちづくりセンターをこれまで通り安心して活動して頂けるように支援することを目標とした。今年度、県より人権映画が無料で配布された。地区住民の方が「小国でも見ることは出来ないか」の声を頂き、まちづくり委員会に相談、文化祭等にも利用できるとスクリーンを購入して取り組んだ。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

- ・住民の方の意見を基にして、地区団体と協議（まちづくり委員会・健生会）
- ・興味をそそる内容の検討（ぬりえ教室・運動教室・まちづくり委員会）

D

●事業の概要

会議日：令和7年6月センター推進委員会（13名）・まちづくり委員会理事会（24名）

令和7年8月ぬりえ教室（7名）・運動教室（11名）

開催日：令和7年9月19日（金）・参加者：39名

内 容：小さな町の映画館～オレンジランプ

参加料無料（おたより配布時にチケット配布）

ポップコーンとコーラのセット販売

C

●事業実施後の振り返り（課題）

住民も職員も、お互い楽しんで取り組めた。時間帯が10時から12時という設定だったため、年代が固まっており、夕方開催を希望する意見もあった。

スクリーンを活用したことで、実施場所や取組案などが、その後の話合いで出てくるようになった。（後日、体育館で実施した文化祭でも使用した。）

今後、高齢者と若い世代の共通の楽しみの一つとして継続したい。

A

●今後の方向性

・地区にある保育園との活動を見直す。無理のない交流で回数を増やし子どもと高齢者の取組が出来るように考えていきたい。

・小国の歴史を、昔話で終わらせずに、記録として残していくように取り組み、世代間の交流にもつなげたい。

